平成29年度奥州市一般会計等予算に対する附帯意見の処理結果について

一般会計

附　帯　意　見	処　　理　　結　　果	担当部等名
(1) 契約事務、服務事務において適正な事務処理となるよう改善されたい。	契約及び会計に係る適正な事務の実践ポイント等について職員研修を実施するとともに、リスクマネジメントに関する取組を継続して行うことにより、事務処理誤りの防止と業務の適正な執行に努めました。	総務企画部 財　務　部
(2) ＩＬＣ誘致実現に向けて積極的に対応されたい。	ＩＬＣ誘致実現に向けては、商工会議所等と連携した企業向けセミナーの開催や、奥州市議会国際リニアコライダー誘致推進議員連盟と連携した看板作成等、平成28年４月に策定した「奥州市ＩＬＣまちづくりビジョン」に基づき、関係団体と連携を深め、取組を進めました。 引き続き、関係機関との連携を一層深め、ＩＬＣ誘致実現に向け、取組を進めてまいります。	総務企画部
(3) 幼保再編計画及び学校給食施設の再編に当たっては、地域や保護者の意見を十分に尊重し進められたい。	幼保再編計画については、各地域に検討組織を設置したほか、保護者や利用者に対するアンケートを実施するなど、意見の集約に努めました。 また、学校給食施設の再編についても保護者へのアンケート調査のほか、パブリックコメントの募集など、広く意見を聞きながら進めました。	教育委員会
(4) 放課後児童クラブの運営及び施設整備については、利用者の要望に応えられたい。	一部の放課後児童クラブで、利用者の要望により閉館時間を午後６時30分から午後６時45分に変更し、利便性を図っております。また、地元要望により、新たに玉里放課後児童クラブを開設し、共働き家庭の児童が安心して生活できる居場所を提供し、児童の健全な育成の支援を行っております。	健康福祉部
(5) 歴史記念館など文化財施設整備を実施するとともに、再編計画を早急にまとめられたい。	記念館運営審議会でまとめられた意見を基に、教育委員会内で施設の基本的な性格や内容について検討を行っております。 検討及び施設設置には一定の期間が必要であることから、斎藤實記念館屋上防水工事をはじめ、牛の博物館、高野長英記念館及び後藤新平記念館の空調機器修繕工事を平成30年度に実施します。	教育委員会
(6) 空き家について、その活用と特定空き家への具体策を講じられたい。	空き家の利活用の推進に向けて、関係団体との懇談会、研修会等を通じて情報を交換し、連携の強化を図りました。 また、危険な空き家を解消し、特定空家化の防止を図るため、国の社会資本整備総合交付金を活用した奥州市危険空き家除却補助金交付要綱を制定しました。	市民環境部

附　帯　意　見	処　　理　　結　　果	担当部等名
(7) 消防団員確保に向けた取組をより一層強化されたい。	消防団プレミアム事業を継続し、ホームページ等による周知により登録事業所は当初の62事業所から90事業所に増加しました。 また、さらなる団員確保のため、消防団のイメージアップと女性消防団員の活躍の場を広げるための事業について検討しました。	市民環境部

介護保険特別会計

附　帯　意　見	処　　理　　結　　果	担当部等名
地域包括ケアシステムの体制構築に向けた市民理解を深められたい。	地域における各種団体の会議や研修会の機会を捉えて、地域包括ケアシステムの仕組みや市の取組について説明したほか、生活支援コーディネーターの活動を通じて、地区センター訪問による地域包括ケアシステムの仕組みの説明や意見交換を行うなど、市民理解を深めるための普及啓発に努めたところです。	健康福祉部

病院事業会計

附　帯　意　見	処　　理　　結　　果	担当部等名
医師、看護師確保の取組をより強化されたい。	医師確保については、県国保連合会及び医師紹介業者等への紹介依頼に努めたことで、前年度同様32名の常勤医師を確保することが出来ました。また、平成29年度末に退職を予定していた衣川歯科診療所の所長についても、休診期間を設けることなく新たな所長へ引き継ぐことが出来ました。 なお、近年、採用試験の受験者数が減少傾向にあった看護師については、試験日程や内容等の見直しを講じたことで、例年を上回る受験者数を確保し、新たに５名の職員を採用することが出来ました。	医療局